

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月5日

上場会社名 東洋精糖株式会社  
 コード番号 2107 URL <http://www.toyosugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当 (氏名) 山口 佳久  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月7日

上場取引所 東

TEL 03-3668-7871

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	7,271	—	524	—	511	—	308	—
20年3月期第2四半期	7,245	△0.8	556	12.8	531	12.0	330	△50.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	5.66	—
20年3月期第2四半期	6.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	12,660	—	4,459	35.0	—	—	81.24	—
20年3月期	12,206	—	4,129	33.6	—	—	75.27	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 4,430百万円 20年3月期 4,105百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00 ～3.00	0.00 ～3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	△0.4	890	△19.0	840	△20.9	500	△20.6	9.17

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 54,560,000株 20年3月期 54,560,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 17,903株 20年3月期 15,664株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 54,543,335株 20年3月期第2四半期 54,545,296株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月5日発表の連結業績予想を修正してありません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績等が異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、2ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、米国サブプライムローン問題による金融不安や資源価格の高騰により、企業収益が減少し、設備投資は減速傾向となり、個人消費もおおむね横ばいになるなど全体に景気は弱含みの状況で推移しました。

当社グループは、引き続き食の安全・安心対策を強化し、適正価格での販売および資産の効率的運用に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は7,271百万円(前年同期比0.4%増)、連結営業利益524百万円(前年同期比5.8%減)、連結経常利益511百万円(前年同期比3.8%減)、連結四半期純利益308百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

## (事業の種類別セグメントの業績)

## 砂糖事業

販売量につきまして荷動きはやや低調気味の推移となり、前年同期を若干下回りました。販売・間接部門のより一層のコスト削減に努めるとともに、適正価格による販売に注力いたしましたが、売上高は6,380百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は548百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

## 機能食品素材事業

酵素処理ルチンは飲料向けを中心に販売量が伸び、また酵素処理ヘスペリジンも健康志向の高まりを背景に販売量は増加傾向で推移しました。ステビア甘味料その他食品は販売数量の確保を目指してまいりました。以上の結果、売上高は692百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は79百万円(前年同期比63.6%増)となりました。

## 不動産賃貸事業

賃貸資産の一元管理を行い、資産の効率的運用に努めましたが、賃貸資産の一部売却により売上高は198百万円(前年同期比5.3%減)、営業利益は60百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は有形固定資産の減少などがあるものの、たな卸資産の増加などにより、前期末に比べ453百万円増加し、12,660百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少があるものの、借入金の増加などにより、前期末に比べ123百万円増加し、8,200百万円となりました。純資産合計は、四半期純利益308百万円による利益剰余金の増加により、4,459百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の33.6%から35.0%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、引き続き米国サブプライムローン問題による金融不安の高まりや、米国の景気減速の影響などにより、先行き不透明感が強まっております。

砂糖事業におきましては、製造販売コストの管理を徹底し、適正価格での販売と原材料の有利調達に努め、収益の確保に向け、取り組んでまいります。

機能食品素材事業におきましては、酵素処理ルチンは引き続き飲料向けを中心に拡販を図ってまいります。また酵素処理ヘスペリジンはエビデンスの取得を進め販売力を強化してまいります。さらに新規素材の上市、他社機能性素材などの販売についても積極的に進めてまいります。

不動産賃貸事業におきましては、賃貸資産の一元管理を行い、資産の効率的な運用に努めてまいります。

以上により、通期の連結業績予想につきましては、売上高14,200百万円、営業利益890百万円、経常利益840百万円、当期純利益500百万円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。  
当該適用に伴う損益への影響はありません。

3. 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

当該適用に伴う損益に与える影響は軽微であります。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	602	547
受取手形及び売掛金	1,404	1,232
商品及び製品	695	671
仕掛品	138	122
原材料及び貯蔵品	838	748
その他	606	546
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	4,275	3,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,933	3,000
機械装置及び運搬具（純額）	198	207
土地	3,235	3,263
リース資産（純額）	6	—
その他（純額）	98	97
有形固定資産合計	6,473	6,569
無形固定資産		
	47	23
投資その他の資産		
投資有価証券	516	480
長期貸付金	1,159	1,078
その他	194	197
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	1,864	1,752
固定資産合計	8,384	8,345
資産合計	12,660	12,206
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697	919
短期借入金	5,071	4,166
未払法人税等	198	346
賞与引当金	64	64
その他	489	465
流動負債合計	6,521	5,961
固定負債		
長期借入金	1,170	1,645
退職給付引当金	368	356
役員退職慰労引当金	55	60
その他	85	51
固定負債合計	1,678	2,114
負債合計	8,200	8,076

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	1,517	1,208
自己株式	△2	△2
株主資本合計	4,418	4,110
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16	0
繰延ヘッジ損益	△4	△5
評価・換算差額等合計	11	△4
少数株主持分	28	24
純資産合計	4,459	4,129
負債純資産合計	12,660	12,206

## (2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,271
売上原価	5,721
売上総利益	1,549
販売費及び一般管理費	
販売費	479
一般管理費	545
販売費及び一般管理費合計	1,025
営業利益	524
営業外収益	
受取利息	16
受取配当金	7
持分法による投資利益	1
その他	4
営業外収益合計	29
営業外費用	
支払利息	38
その他	3
営業外費用合計	42
経常利益	511
特別利益	
固定資産売却益	11
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産売却損	6
特別損失合計	6
税金等調整前四半期純利益	515
法人税、住民税及び事業税	192
法人税等調整額	12
法人税等合計	204
少数株主利益	2
四半期純利益	308

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	515
減価償却費	78
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5
受取利息及び受取配当金	△24
支払利息	38
持分法による投資損益 (△は益)	△1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	△172
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△130
仕入債務の増減額 (△は減少)	△221
未払金の増減額 (△は減少)	12
その他	△20
小計	77
利息及び配当金の受取額	24
利息の支払額	△38
法人税等の支払額	△339
営業活動によるキャッシュ・フロー	△276
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△1
有形固定資産の取得による支出	△31
有形固定資産の売却による収入	56
貸付けによる支出	△330
貸付金の回収による収入	195
その他	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	530
長期借入金の返済による支出	△100
自己株式の取得による支出	△0
リース債務の返済による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	428
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54
現金及び現金同等物の期首残高	547
現金及び現金同等物の四半期末残高	602

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	砂糖事業 (百万円)	機能食品 素材事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,380	692	198	7,271	-	7,271
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	6	6	(6)	-
計	6,380	692	204	7,277	(6)	7,271
営業利益	548	79	60	688	(164)	524

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な製品

(1) 砂糖事業……………精製糖など

(2) 機能食品素材事業……………ステビア甘味料・機能性食品素材(酵素処理ルチン、酵素処理ヘスペリジン、ゆずポリフェノールなど)

(3) 不動産賃貸事業……………マンション・ビルの賃貸及び仲介

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社は、本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社及び連結子会社は、海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

「参考」

## 前中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
区分	金額(百万円)	
I 売上高		7,245
II 売上原価		5,669
売上総利益		1,576
III 販売費及び一般管理費		
1 販売費	483	
2 一般管理費	535	1,019
営業利益		556
IV 営業外収益		
1 受取利息	13	
2 受取配当金	7	
3 負ののれん償却額	0	
4 その他	2	23
V 営業外費用		
1 支払利息	45	
2 持分法による投資損失	0	
3 その他	3	49
経常利益		531
VI 特別損失		
1 固定資産売却損	2	
2 固定資産除却損	2	4
税金等調整前 中間純利益		526
法人税、住民税及び事業税	221	
法人税等調整額	△ 26	194
少数株主利益		2
中間純利益		330

## 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	526
減価償却費	72
負ののれん償却額	△ 0
貸倒引当金の増加額	1
賞与引当金の増加額	1
退職給付引当金の増加額	7
役員退職慰労引当金の増加額	6
受取利息及び受取配当金	△ 21
支払利息	45
持分法による投資損失	0
有形固定資産売却損	2
有形固定資産除却損	2
売上債権の増加額	△ 73
たな卸資産の減少額	123
仕入債務の増加額	124
未払金の増加額	11
その他	△ 11
小計	820
利息及び配当金の受取額	21
利息の支払額	△ 45
法人税等の支払額	△ 170
営業活動によるキャッシュ・フロー	626
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の取得による支出	△ 1
投資有価証券の売却による収入	0
有形固定資産の取得による支出	△ 3
有形固定資産の売却による収入	6
無形固定資産の取得による支出	△ 1
補助金受入による収入	0
貸付による支出	△ 310
貸付金の回収による収入	129
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 181
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増減額(純額)	870
長期借入金の返済による支出	△ 1,250
自己株式取得による支出	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 380
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	64
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	441
<b>VI 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	505

## セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	砂糖事業 (百万円)	機能食品 素材事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,401	634	209	7,245	—	7,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	15	15	(15)	—
計	6,402	634	224	7,261	(15)	7,245
営業費用	5,816	586	155	6,558	130	6,688
営業利益	585	48	69	703	(146)	556

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な製品

(1) 砂糖事業……………精製糖など

(2) 機能食品素材事業……………ステビア甘味料・機能性食品素材（酵素処理ルチン、酵素処理ヘスペリジン、酵素処理イソフラボン、ゆずポリフェノールなど）

(3) 不動産賃貸事業……………ビル、マンションの賃貸及び仲介

## [所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当社は、本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## [海外売上高]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当社及び連結子会社は、海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。